

2024年度「学修行動調査」及び 「卒業生アンケート」

主な自由記載意見への回答

「学修行動調査」及び「卒業生アンケート」では、自由記載欄を通じて皆さんから意見をいただきました。これらのうち、特に重要な指摘と考えられる点(多くの同意見が挙げられた点など)を抽出し、本学の考え方や今後の対応について掲載しています。

2025年9月

びわこリハビリテーション専門職大学

1. 集中講義に関すること

2024年度PT・OT2年次「老年医学」「神経内科学Ⅰ・Ⅱ」「内科学Ⅰ・Ⅱ」については、土曜日等も含めた集中講義で実施する形となり、2年生の皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。この原因は、前年度に担当していた専任教員の急逝や非常勤講師の就任辞退により、講師手配後に時間割の空き時間にコマを入れざるを得なかったためです。

いただいた意見の中には「集中講義は学習の進度が早く、理解が不安だ」との指摘もありました。時間割編成は、原則として前期・後期の授業期間内（月曜日～金曜日）に組むように努めており、2025年度は集中講義の科目を設けずに済みました。

次年度以降も、やむを得ず集中講義を編成する場合は過度な編成を避けるとともに、新年度オリエンテーションで時間割を提示できるようにします。

2. 相談先に関する事

「悩みや心配事を誰に相談して良いのかわからない」といった要望が寄せられました。2025年度『学生便覧』p.34や学内掲示板に相談先一覧を掲載していますので、相談内容に応じて活用してください。

特に、対人関係やハラスメント等の深刻な相談をしたい場合は、カウンセリングルーム(心理カウンセラー)やなんでも相談員を活用してください。

3. 施設設備・バスに関すること

東近江キャンパスの階段の狭さ、学食のメニュー、スクールバス運行等に関する意見・要望をいただきました。

他の大規模な大学とは異なり、本学は前身の専門学校の敷地・校舎・設備を活用しています。特に2023年度は、4学年の学生が1つのキャンパスに通学したことから手狭な状況があり、2024年度は新たに八日市キャンパスを新設しました。

さらなる施設の増設は難しいですが、大規模な改修等を必要としない範囲内で、対応可能な点については改善を検討していきます。

4. 国家試験対策に関すること【理学療法学科】

①「国家試験対策を夏休みから対策を始めてほしい」という要望については、2025年度からは夏休み前から宅ドリルによる課題を提供しています。

②各ゼミ間での国家試験対策の差があったとの指摘に対しては、より各ゼミ担当教員が責任をもってゼミ学生を国家試験合格へ導いていけるように、さらに「一枚岩」となって取り組みます。具体的には、以下の施策を行います。

- ・各ゼミ担当教員が週1回、ゼミ学生が集まる機会を設け、国家試験対策の進捗状況を把握し、指導や助言を行います。

- ・学生同士で教え合う大切さを通じて、グループワーク、チームアプローチの重要性を学生の皆さんに認識していただくようにします。

③国家試験対策の学習場所は、学内で行うことを原則とします。その理由は過去の卒業生の状況から、自宅では時間の使い方がルーズになり、結局は国家試験不合格になる確率が高いことが明確になったためです。

④今年度から、以下の新たな取り組みを行います。

- ・医歯薬模試に加え、三輪書店全国模試も受験し、さらに学修成果を把握できるようにします。

- ・1月以降の土曜日・祝祭日の大学開放は東近江キャンパスとし、スクールバスを朝夕1便ずつ（能登川駅⇄八日市駅⇄東近江キャンパス）運行する予定です。なお、日曜日は皆さんの心理的プレッシャーを軽減できるように自宅学習とします。

- ・理解度が低い生理学については、三谷先生の特別講義を開講します。また、学科の専任教員も適宜補講を行います。

4. 国家試験対策に関すること【作業療法学科】

国試対策に関しては「大いに役立った」が82%、「ある程度役立った」が18%と、肯定的な感想が100%を占めています。この結果から国試に不合格であった卒業生からも概ね良好な評価を頂いたことが想定されます。そのため既卒生側も再度の国試受験に向けての教育支援の受け入れが良好に進められると考えます。

自由記述の意見では「大雪時の国試対策勉強会の実施可否」について指摘をいただきました。これについては、2025年度から組織されている国試対策専門委員会（PT学科、OT学科、事務センターにより構成）において、より円滑な運営ができるように努めます。